

2011年度

科目名	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ				
担当教員	神部 智司				
配当	教福4		コード	13076	
開期	通年	講時	月曜日3限	単位数	2
授業テーマ	社会福祉援助技術現場実習の事前学習と事後学習				
目的と概要	事前学習において、現場実習の目的と意義を理解し、実習課題を明確にする。事後学習においては、現場実習の経験をふりかえり、実習の評価と課題の整理を行う。				
成績評価法	平常点・授業時のレポート・提出物:80% 実習記録:20%				
テキスト	『社会福祉小六法 2011』(出版社は指定しない)。 『国民の福祉の動向 2010／2011年』／厚生統計協会				
参考書	随時紹介する				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	現場実習は、理論と実践をつなぎ、人間理解を深める総合学習です。そのため、他の専門科目と関連させて実習経験を理解することが必要となります。その心構えをもって実習指導を受講してください。				
講義計画					
1. 事前学習オリエンテーション 資料配布と説明、実習に関する全体像の把握 実習指導日程、決定した実習先と実習期間、実習開始までのスケジュールなどの確認や注意事項の伝達を行う。実習関係書類を配布し記入方法や取り扱いについて説明する。 2. 実習事前訪問について 現場実習期間前の各実習先オリエンテーションでの確認事項や注意事項を理解する。自己紹介票について。 3. 実習計画書作成について 実習計画書の目的と意義を理解する。計画書作成に向けて実習に期待することや各自の課題を整理する。 4. 社会福祉現場の理解と相談援助職実習について 1 高齢者関係（実習巡回担当非常勤） 5. 社会福祉現場の理解と相談援助職実習について 2 児童関係（実習巡回担当非常勤） 6. 社会福祉現場の理解と相談援助職実習について 3 社会福祉協議会他（実習巡回担当非常勤） 7. 実習記録について 1 記録の意義、目的、記述方法についての理解 実習記録に記録すべき内容や記録の方法について理解する。 8. 実習記録について 2 実習記録演習 9. 実習計画書作成 1 実習計画書を作成し、検討する。 10～12. 実習計画書作成 2、3、4 (12回目に巡回担当教員との面談を設定) 13. 事前学習のまとめと実習開始にあたっての諸注意 実習に向けての心構え、実習中のマナーや健康管理、緊急時の対応などの確認と注意事項を伝える。 14～17巡回指導 1、2、3、3 18. 事後学習のオリエンテーション 事後学習の目的と意義、実習報告と実習報告書について 実習報告の目的と意義を理解する。実習報告書作成について理解する。 19. 実習報告 1 実習終了者が実習報告を順次行い、実習経験を共有する。実習報告を通じて、社会福祉現場の現状と課題を学ぶ。また、今後の課題について整理する。 20. 実習報告 2（実習巡回担当非常勤） 21. 実習報告 3（実習巡回担当非常勤） 22. 実習報告 4（実習巡回担当非常勤） 23. 実習報告 5 24. 社会福祉現場の現状と課題 実習を通じて学んだ社会福祉現場の現状と課題を整理する。 25. 実習報告書作成 1 26. 実習報告書作成 2 27. 実習報告書作成 3 28. 社会福祉専門職について 社会福祉現場で相談線徐専門職に求められている役割や必要な知識、技術について整理する。 29. 実習のふりかえりと総括 30. 実習報告会 実習報告と現場実習の総括を行う。次年度実習へ行く学生と合同で行い、意見交換をする。					